

<会議資料>

平成 2 5 年度

第 1 回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(平成 25 年 8 月 6 日)

## 平成25年度（第1回）練馬区立美術館運営協議会 資料目次

1. 練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
2. 練馬区立美術館運営協議会条例	2
3. 平成24年度 事業報告	
(1) 展覧会事業	
平成24年度 展覧会事業日程および観覧者	4
平成24年度 企画展・コレクション展関連事業	6
平成24年度 広報活動と反響	7
(2) 教育普及事業	
平成24年度 教育普及事業実績	13
平成24年度 博物館実習実績	22
平成24年度 美術館サポーター - 活動実績	23
(3) 美術作品の収集事業	
美術作品の収蔵事業	24
平成24年度 美術作品取得状況	25
平成24年度 収蔵品貸出事業	30
平成24年度 美術館収蔵品データベースに対する反響	31
(4) 施設利用状況	
平成24年度 施設利用状況	32
(5) ぐるっとパスの利用状況	
平成24年度ぐるっとパスの利用状況	33
4. 平成25年度 事業計画	
(1) 展覧会事業	
平成25年度 展覧会事業日程	34
牧野邦夫展	35
コレクション展	36
N+N展	37
鹿島茂3展	38
宮芳平展	39
渡辺千尋展	40
野口哲哉展	41
(2) 教育普及事業	
平成25年度 教育普及事業計画	42
5. 今後の展覧会について	45
6. 美術の森緑地の整備について	47

# 第14期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

平成25年8月6日現在

		氏 名	役 職	
学識経験者	委員	栗 津 則 雄	文芸評論家	
	委員	高 橋 幸 次	日大芸術学部美術学科教授	
	委員	青 木 茂	文星芸術大学教授	
	委員	伊豆井 秀 一	埼玉県立近代美術館 専門員兼学芸員	
	委員	大 橋 皓 也	洋画家	
	委員	佐 藤 康 宏	東京大学教授	
	委員	松 本 透	東京国立近代美術館副館長	
	委員	井 出 洋一郎	府中市美術館館長	
練馬区議会 議員	委員	関 口 和 雄	区議会議員	
	委員	米 沢 ちひろ	区議会議員	
	委員	さわむら 信太郎	区議会議員	
	委員	松 村 良 一	区議会議員	
公募区民	委員	中 島 悠 子	公募区民	
	委員	安 斉 紀 子	公募区民	
	委員	畑 浩 二	公募区民	
美術関係者	委員	伊 藤 定 夫	練馬・文化美術の会代表	
	委員	宮 澤 歳 男	練馬区美術家協会副会長	
学校教育関係者	委員	堀 井 安 伸	石神井東中学校長	
	委員	吾 妻 彰	谷原小学校教諭	

## 練馬区立美術館運営協議会条例

昭和 60 年 10 月 8 日

条例第 45 号

(設置)

第 1 条 練馬区立美術館(以下「美術館」という。)の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第 3 条 協議会は、委員 19 人以内をもって組織する。

(委員)

第 4 条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8 人以内
- (2) 練馬区議会議員 4 人以内
- (3) 区民 3 人以内
- (4) 美術団体関係者 2 人以内
- (5) 学校教育関係者 2 人以内

2 前項第 3 号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第 5 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第 6 条 協議会に会長および副会長を各 1 人置く。

2 会長および副会長は、委員が互選する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決する

ところによる。

- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則 この条例は、公布の日から施行する。

付 則 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

### 3.平成24年度事業報告

#### (1) 展覧会事業

平成24年度 展覧会事業日程および観覧者数

企画展等

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月8日(日) ～6月3日(日)	鹿島茂コレクション2 バルビエ×ラブルール アール・デコ、色彩と線描のイラストレーション	49	14,700 (300)	10,081 (206)	68.6%
6月28日(木) ～7月8日(日)	N+N2012(練馬区立美術館・日大芸術学部合 同展) 触れる 感覚のレッスン	10	1,300 (130)	2,125 (213)	163.5%
7月15日(日) ～9月9日(日)	特別展「生誕100年 船田玉樹 - 異端にして正統、孤高の画人生。」	49	9,000 (184)	13,436 (274)	149.3%
9月16日(日) ～11月25日(日)	「棚田康司 - たちのぼる。」展	61	10,000 (164)	6,376 (105)	63.8%
2月17日(日) ～4月7日(日)	「超然孤独の風流遊技 - 小林猶治郎展」 「富田有紀子展」	43	4,440 (103)	4,095 (95)	92.2%
合 計		212	39,440 (186)	36,113 (170)	91.6%
前年度		196		51,271 (262)	前年度比 70.4%

2階常設展示室によるコレクション展

観覧者数は、同時開催の企画展がある場合はその観覧者数、ない場合は常設展示室の入場者数から

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月8日(金) ～7月8日(日)	平澤熊一展 うちのめされた時がほんとうに人生をしっかりと 生きるとき	27	3,510 (130)	6,672 (247)	190.1%
11月29日(日) ～2月11日(月・祝)	「人間国宝 大坂弘道展」 正倉院から蘇った珠玉の木工芸	60	10,800 (180)	15,272 (255)	141.4%
合 計		87	14,310 (164)	21,944 (252)	153.3%
前年度		83	観覧者数 1日当り	13,497 (163)	前年度比 154.6%

企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	23年度	24年度	前年度比
	64,768	58,057	89.6%

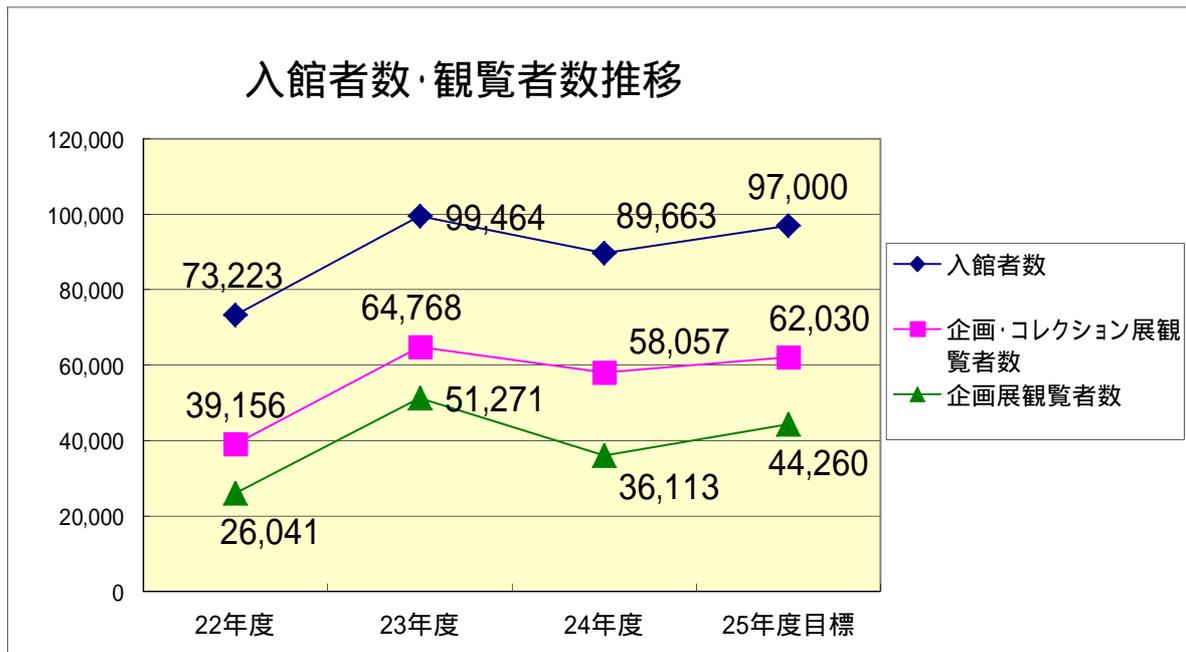
企画展、N+N展、船田玉樹展は目標を大きく上回った。鹿島茂コレクション展、棚田康司展は目標を下回ったがアールデコ期のフランス版画、現代若手木彫作家のまとまった形での初めての紹介となり、アート界、ファッション界で注目を集め、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、ネットなど多彩なメディアで取りあげられた。

コレクション展は、無料である上、同時開催の小中学校展などの流れを受け、目標をはるかに上回った。とりわけ、大坂弘道展は、作品の希少性、クオリティーの高さが評判となり、全国の木工芸作家・ファンの来館が続いた。

各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
6月8日(金) ～6月17日(日)	第58回練馬区美術家協会展	9	1,401 (156)	
1月12日(土) ～1月16日(水)	中学校生徒作品展	4	2,830 (708)	
1月19日(土) ～1月24日(木)	小学校連合同工展	5	9,280 (1,856)	
1月26日(土) ～1月27日(日)	小・中学校連合書初め展	2	10,527 (5,264)	
2月2日(土) ～2月11日(月)	第44回練馬区民美術展	9	2,611 (290)	
合 計		29	26,649 (919)	前年度比 96.7%
前年度		29	27,558 (950)	

入館者数比較	23年度	24年度	前年度比
	99,464	89,663	90.1%



## 平成24年度 企画展・コレクション展関連事業

1 鹿島茂コレクション2 バルビエ×ラブルール展(平成24年4月8日～6月3日)		
(1) 出品作家によるギャラリートーク	1回	65人
(2) 講演会	5回	334人
(3) コンサート	2回	188人
(4) ワークショップ	3回	38人
	計	625人
2 平澤熊一展 (平成24年6月8日～7月8日)		
(1) ギャラリートーク	2回	50人
(2) 出品作家長男と学芸員によるギャラリー	1回	65人
		115人
3 N+N展 2012 触れる 感覚ノレッスン (平成24年6月28日～7月8日)		
(1) ワークショップ	2回	42人
(2) 講演会	1回	33人
(3) ダンス公演	1回	50人
	計	125人
4 特別展 生誕100年 異端にして正統、孤高の画人生。展 (平成24年7月15日～9月9日)		
(1) ワークショップ	8回	91人
(2) 出品作家ご子息と学芸員のギャラリート	1回	150人
(3) ギャラリートーク	2回	230人
(4) コンサート	2回	208人
(5) 読み語り	1回	70人
	計	749人
5 棚田康司 たちのぼる。(平成24年9月16日～11月25日)		
(1) アーティストトーク	2回	185人
(2) 講演会	3回	79人
(3) ワークショップ	1回	14人
(4) 読み語り	1回	45人
	計	323人
6 人間国宝 大坂弘道 )(平成24年11月29日～2月11日)		
(1) 学芸員によるギャラリートーク	2回	80人
(2) 出品作家によるギャラリートーク	1回	110人
(3) 講演会	2回	151人
(4) 読み語り	1回	57人
(5) 鑑賞プログラム	2回	19人
	計	417人
7 超然孤独の風流遊戯 小林猶治郎展 (平成25年2月17日～4月7日) 富田有紀子展		
(1) 学芸員によるギャラリー	7回	248人
(2) 読み語り	1回	65人
(3) ジャズコンサート	1回	130人
	計	443人

参加者数計 2,797人  
(23年度 1,851人)

## 平成 24 年度 広報活動と反響

### 1. 広報活動の取り組み

方針 多様な媒体を利用し、周知・集客に努める。  
コレクションを使った常設展(小規模展)の広報も積極的に行う。

(1) 展覧会のチラシ・ポスターの印刷

(2) 美術館ニュースの発行(年 1 回)

(1)(2)は全国美術館、関係者、区内施設等に発送

展覧会のポスターは、町会掲示板にも掲出依頼

(3) 美術館ホームページ

平成 23 年 7 月からブログ開始。

ホームページ内の収蔵作品データベースへの年間アクセス数は、202,005 件。

(4) マスコミへの情報発信

新聞・雑誌・地域コミュニティ紙・ウェブサイト等にプレスリリースを発信し、主に掲載料無料のものを利用している。

24 年度のバルビエ×ラブルール展、船田玉樹展、棚田康司展、小林猶治郎展富田有紀子展で美術関係の PR 会社にリリース配信を委託。

(5) 交通広告

年間を通して中村橋駅に案内看板を設置。

企画展覧会によってポスターの駅貼り広告等。

(6) 新聞広告

平成 24 年度は、行わず。

(7) その他

ぐるっとパス 平成 23 年度から実施

ミューぼん 平成 22 年 12 月 2 日から

### 2. 平成 24 年度展覧会に対する反響

(1) 鹿島茂コレクション2 バルビエ×ラブルール展 (平成 24 年 4 月 8 日～6 月 3 日)

< 新聞 >

東京新聞 4 月 5 日

朝日新聞 4 月 11 日夕刊

毎日新聞 4 月 16 日夕刊

新美術新聞 4 月 21 日

日本経済新聞 5 月 10 日

読売新聞 5 月 24 日朝刊

産経新聞 5 月 27 日朝刊

< 雑誌 >

芸術新潮 4月号	月刊展覧会ガイド 4月号
フェーマス 4月号	翼の王国 4月号
美術の窓 4月号	月刊アートコレクター 5月号
毎日が発見 5月号	シグネチャー 5月号
キルトジャパン 5月号	週刊文春 5月31日号
BRUTUS 5月15日号	パンプキン 6月号
ミセス 6月号	GQ JAPAN 7月号
グラビータ 2012 第1号	

< テレビ >

BS 日テレ ぶらぶら美術・博物館 5月2日  
BS ジャパン 7PM 5月24日  
BS-TBS アサBAN 5月29日  
ねりまほっとライン 5月前半

< ラジオ >

TOKYO FM ブルー・オーシャン 3月27日  
J-WAVE ランデブー 4月24日

< 情報誌 >

びいーゆ 3月号	池袋15´ 4月号
TOKYO NOTICE BOARD 4月号	光が丘NOW 5・6月号
定年時代 5月下旬号	ジョブアイデム Vol.499
荻窪百点	

< インターネット >

展覧会へ行こう!	大人のカルチャーガイド
Japan Design Net	HMV ONLINE
Art inn	インターネットミュージアム
CJ キューブ	Let's Enjoy TOKYO
ReNTA taste	

< ブログ・ツイッター >

美術館ブログ、ツイッターなど多数

(2) 平澤熊一展 (平成24年6月8日~7月8日)

< 新聞 >

岩手日報 平成24年5月23日(水)	山陰中央新報 平成24年5月28日(月)
秋田さきがけ平成24年5月28日(月)	
新潟日報 平成24年6月8日(金)	東京新聞 平成24年6月15日(金)
都政新報 平成24年6月22日(金)	

<雑誌>	
月刊美術 2012年7月号	芸術新潮 2012年7月号
美術の窓 2012年7月号	
<フリーペーパー>	
池袋'15 2012年6月号、7月号	西武ニュース 2012年7月号
<WEB>	
練馬経済新聞	
ReENTA	
Let's ENJOY TOKYO	

(3) **N+N展 2012 触れる 感覚のレッスン** (平成24年6月28日~7月8日)

<新聞>朝日新聞 平成24年7月6日(金)朝刊
<雑誌>西武ニュース 平成24年7月号 583
<WEB>Let's ENJOY TOKYO(WEB)

(4) **生誕100年 船田玉樹展** (平成24年7月15日~9月9日)

<テレビ・ラジオ>	
7月19日(木)9:30~9:45 FM東京「ブルーオーシャン」	
7月29日(日)9:45~、(再)20:45~ Eテレ「日曜美術館アートシーン」	
8月2日(木)11:30~12:00 東京MXテレビ「チェックタイム」	
<新聞>	
東京新聞 7月12日	毎日新聞 7月20日、8月28日
朝日新聞 7月12日、8月1日、8月8日	産経新聞 8月12日
読売新聞 7月28日	新美術新聞 7月17日
<美術雑誌等>	
月刊美術 8月号	美術の窓 8月号
芸術新潮 9月号	BRUTUS 8月1日号
月刊展覧会ガイド	
<地域情報誌>	
びいーゆ 8月号	「池袋15」
月刊武州路 8月号	
<WEB>	
インターネットミュージアム	Let's Enjoy TOKYO
CJキューブ	ぶらり美術館
展覧会へ行こう	日本美術倶楽部
大人のカルチャーガイド	HP・メールマガジン
<ブログ・ツイッター>	
美術館ブログ・ツイッターなど多数	

(5) 棚田康司 たちのぼる。展 (平成 24 年 9 月 16 日 ~ 11 月 25 日)

< 新聞 >

日本経済新聞 9 月 9 日朝刊、9 月 16 日朝刊、9 月 29 日夕刊、11 月 18 日朝刊  
朝日新聞 9 月 12 日夕刊、11 月 14 日夕刊  
毎日新聞 10 月 29 日夕刊、11 月 15 日朝刊  
東京新聞 10 月 18 日朝刊、10 月 19 日夕刊  
産経エクスプレス 9 月 16 日  
新美術新聞 10 月 21 日

< 雑誌 >

SODA(ソーダ) Special Issue	ぴあ Special Issue
トーキングヘッズ叢書 52	月刊アートコレクターズ 9 月号・10 月号
ギャラリー 9 月号	メンズジョーカー 10 月号
月刊展覧会ガイド 10 月号	BRUTUS 10 月 15 日号
月刊美術 10 月号	美術手帖 10 月号
CREA 11 月号	芸術新潮 11 月号

< テレビ >

フジテレビ / プレミアの巣窟 10 月 23 日  
TOKYO MX テレビ / TOKYO MX NEWS 10 月 18 日

< ラジオ >

TOKYO FM / Blue Ocean 10 月 25 日 (棚田康司氏出演)

< 情報誌 >

ふれあい朝日 9 月 1 日号	tagboat 9 月号・10 月号
池袋びいーゆ 10 月号	池袋 15' 10 月 20 日号

< インターネット >

フジテレビ イベントダフル	ART ACCESS
ぶらり美術館	レッツエンジョイ東京
展覧会へ行こう!	AIS アーティスト応援サイト
クリエイティブ ビレッジ	Art Annual online
CJ キューブ	
タイムアウト東京	
< ブログ・ツイッター - >	美術館ブログ・ツイッターなど多数

(6) 人間国宝 大坂弘道展 (平成 24 年 11 月 29 日 ~ 平成 25 年 2 月 11 日)

< 新聞 >

日本経済新聞 11 月 24 日夕刊、1 月 10 日夕刊  
朝日新聞 11 月 28 日夕刊

読売新聞 12月4日夕刊、12月25日夕刊、2月9日夕刊	
東京新聞 1月11日夕刊	
<雑誌>	
美術の窓 1月号	家庭画報 2月号
ギャラリー 12月号	週刊新潮 12月20日号
月刊展覧会ガイド 1月号	CURIO 1月号
月刊美術 12月号	美術手帖 1月号
	芸術新潮 1月号
<情報誌>	
光が丘 imaam 1・2月号	arch 12月号
月刊武州路 1月号	池袋15' 12月号1月号
荻窪百点 289号	
<インターネット>	
インターネットミュージアム	レッツエンジョイ東京
ぶらり美術館	i コンシェル
展覧会へ行こう!	Art inn
CJキューブ	練馬経済新聞
g-call	

(7) 超然孤独の風流遊戯 小林猶治郎展 富田有紀子展 (平成25年2月17日~4月7日)

<新聞>	
東京新聞 2月14日	朝日新聞 2月2日、3月13日
産経新聞 2月24日	
読売新聞 1月28日、2月8・17日、3月5・14・15・16日	
新美術新聞 2月21日、3月21日	
ジャパントイムス 2月21日	定年時代 3月4日
<美術雑誌等>	
芸術新潮 5月号	月刊「書道界」 月刊展覧会ガイド
<地域情報誌>	
「池袋15」	クリエイト街の便利帳
月刊武州路 2月号	
<WEB>	
カロンズネット	Let's Enjoy TOKYO
CJキューブ	ぶらり美術館
展覧会へ行こう	Time out Tokyo
楽天「まち楽ねりま」	HP・メールマガジン
G-CALL	

### 3. 展覧会放送・掲載回数

	24 年度	23 年度	22 年度
テレビ・ラジオ	1 2	1 1	1 1
新聞	5 7	6 2	6 2
美術誌	2 7	2 9	2 8
地域情報誌・その他の雑誌	4 7	3 9	4 4
WEB	4 9	3 5	3 1
計	1 9 2	1 7 6	1 7 6

その他ブログ・ツイッターなど多数

## 平成24年度 教育普及事業実績

### 館内事業

#### ） 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

##### 関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
鹿島茂展2 パルピエ×ラブルール 関連ワークショップ	絵から見つける模様 布に描いてコース ジュ作り	4月28日(土) 13:30～17:00	松尾由佳 (グラフィックデザ イナー)	展示作品中から好きな模 様を見つけ真似して布に 描き、コースジュに仕立て た	小学4年生 以上	1,000	20	24	19
	dress up today? 好きなファッション を描いてみよう	6月3日(日) 14:00～17:00	網中いづる (イラストレーター)	網中氏のイラストが描かれ た紙に、展覧会で見た洋 服やアクセサリを描き込 み綴じてファッションブ ックを作った	小学生 以上	500	20	43	19
N+N展 関連ワークショップ	「ジャイアントメイズ をみんなで作って 遊ぼう」	7月7日(土) 16:00～17:01	桑原淳司 (日本大学芸術学 部デザイン学科教 授)	透明なシートを貼り合 せて大きくし、穴や切込みを 入れてみんなで遊具を 作った(於展示室)	小学生	無料	10	当日 受付	10
		7月7日(土) 16:00～17:02			小学生	無料	10	当日 受付	6
	「野菜で楽器を作 って演奏しよう」	7月7日(土) 16:00～17:00	川上央 (日本大学芸術学 部音楽学部教授)	人参などの野菜に穴をあ け、ストローのリードをつ けて楽器を作った。完成し た楽器は展示室で皆で演 奏した	幼児～ 大人	無料	30	当日 受付	26
船田玉樹展 関連ワークショップ	僕たち墨戯団！水 墨画で扇子を作ろ う[A]	7月27日(金) 10:30～12:30	眞子 みほ (当館学芸員)	船田の扇面画を中心に鑑 賞した後、墨を擦り画用 紙に水墨画の練習をし、 扇子に好きなものを描い た	小学1 ～3年生	300	20	15	11
	僕たち墨戯団！水 墨画で扇子を作ろ う[B]	7月27日(金) 14:00～16:00			小学1 ～3年生	300	20	20	17
	僕たち墨戯団！水 墨画で扇子を作ろ う[C]	7月28日(土) 10:30～12:30			小学1 ～3年生	300	20	16	11
	僕たち墨戯団！水 墨画で扇子を作ろ う[D]	7月28日(土) 14:00～16:00			小学1 ～3年生	300	20	4	4
船田玉樹展 関連講座	墨で木を描こう[A]	7月29日(日) 10:30～17:00	眞子 みほ (当館学芸員)	船田の木を描いた水墨作 品を鑑賞し、公園で木を スケッチした後、水墨の練 習をし色紙に各々の木の 姿を描いた	小学生	300	20	19	18
	墨で木を描こう[B]	8月3日(金) 10:30～17:00			小学生	300	20	29	20
	日本画を描こう！ 【A】 【2日間】	8月11日(土) ～12日(日) 10:30～17:00		子どもを対象とした日本 画講座。F4木製パネル へ麻紙を水張りし、自宅 で描いてきた下絵をト レースし、絵具を作って 着色した	小学4年生 ～中学生	1,000	20	9	9
	日本画を描こう！ 【B】 【2日間】	8月18日(土) ～19日(日) 10:30～17:00			小学4年生 ～中学生	1,000	20	1	1
棚田康司展 関連ワークショップ	木彫に挑戦！ 【2日間】	10月20日(土) ～21日(日) 10:30～17:00	棚田康司 (彫刻家)	12×12×20cmの楠材をノ ミで彫刻した。題材は自 由で事前に下書き用紙を 送り宿題とした	小学5年生 以上	1,500	15	36	14
							265	216	185

計14回 参加者延185名

ギャラリートーク

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
平澤熊一展	ギャラリートーク	6月9日(土) 15:00~	平澤三之助 × 上山 陽子 (当館学芸員)	担当学芸員と出品作家長男によるギャラリートーク		観覧料		65	
		6月16日(土) 15:00~	上山 陽子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク		観覧料		30	
		6月23日(土) 15:00~				観覧料		20	
鹿島コレクション2 バルビエ×ラブルール	ギャラリートーク	5月20日(日) 11:00~	鹿島茂 (明治大学教授)	出品者鹿島氏によるギャラリートーク		観覧料		65	
船田玉樹展	ギャラリートーク	7月21日(土) 15:00~	野地耕一郎 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク		観覧料		130	
		8月4日(土) 15:00~				無料		100	
	ギャラリートーク	9月8日(土) 15:00~	船田奇岑 × 野地耕一郎 (当館学芸員)	担当学芸員と出品作家御子息によるギャラリートーク		観覧料		150	
棚田康司展	アーティストトーク	9月22日(土) 15:00~	棚田康司 (出品作家)	出品作家棚田氏によるギャラリートーク		観覧料		70	
		10月27日(土) 15:00~	棚田康司 (出品作家) × 三浦末雄 (アートディレクター)	出品作家棚田氏とアートディレクター三浦氏によるギャラリートーク		観覧料		115	
大坂弘道展	ギャラリートーク	12月1日(土) 15:00~	加藤陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク		観覧料		30	
	ギャラリートーク	12月8日(土) 15:00~	大坂弘道 (出品作家)	出品作家大坂氏によるギャラリートーク		観覧料		110	
	ギャラリートーク	2月2日(土) 15:00~	加藤陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク		観覧料		50	
小林猶治郎展	ギャラリートーク	2月23日(土) 15:00~	上山 陽子 (当館学芸員)	担当学芸員(+ゲスト)によるギャラリートーク		観覧料		30	
		3月2日(日) 14:00~	富田由紀子 × 上山 陽子 (当館学芸員)			観覧料		70	
		3月9日(土) 15:00~					観覧料		12
		3月16日(土) 15:00~	上山 陽子 (当館学芸員)			観覧料		30	
		3月23日(土) 15:00~					観覧料		11
		3月30日(土) 15:00~	富田由紀子 × 上山 陽子 (当館学芸員)			観覧料		70	
		4月6日(土) 15:00~	上山 陽子 (当館学芸員)			観覧料		25	
								1183	
								計19回 参加者延1183名	

講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
鹿島コレクション 2 バルビエ×ラ ブルール 関連 講座	「狂乱の時代 1920年代のフラン ス美術」	4月21日(土) 14:30～16:00	高階 秀爾 (西洋美術振興財 団理事長、大原美 術館館長)	美術史の観点から、バル ビエとラブルールが活躍 した時代についてお話し いただいた	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	120	66
	「好きなものは何で も蒐めたい！ コ レクションの楽しみ」	4月15日(日) 14:30～16:00	鹿島 茂 (フランス文学者、 明治大学国際日 本学部教授)	コレクターの立場から、コ レクションすることの楽し みをお話しいただいた(於 視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	100	68
	「バルビエ×ラブ ルール 色彩と線 描のイラストレー ション」	5月6日(日) 14:30～16:00	鹿島 茂 (フランス文学者、 明治大学国際日 本学部教授)	バルビエやラブルールを 蒐集するようになったきっ かけやその魅力について お話しいただいた(於視 聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	136	71
	「装飾芸術の華 アールデコファッ ションとファッション プレート」	5月19日(土) 14:30～16:00	深井 晃子 (京都服飾文化財 団チーフ・キュ レーター)	服飾研究の観点から、 アールデコの時代の ファッションについてお話 しいいただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	84	61
	「踊る絵画、動く色 彩/パレエ・リュスの 世界」	5月26日(土) 14:30～16:00	鈴木 晶 (法政大学教授、 早稲田大学大学 院客員教授)	バルビエが描いた絵画を 中心に、パレエ・リュスの 世界をご紹介いただいた (於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	70	129	68
N+N展関連講座	「触れる 高村光太 郎「触覚の世界」か ら」	7月8日(土) 15:00～16:30	高橋幸次 (日本大学芸術学 部美術学科教授)	高村の「触覚」に関するテ キストを紐解きながら、作 品鑑賞についてお話し いただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	無料	60	40	33
棚田康司展関連 特別講演会	「未性者と表現」	10月6日(土) 14:30～16:00	暮沢剛巳 (東京工科大学デ ザイン学部教授)	棚田氏の作品について、 現代美術の観点からお話 しいいただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	無料	70	52	47
	「日本の木彫像」	11月17日(土) 14:30～16:00	武笠朗 (実践女子大学教 授)	日本における木彫の歴史 を紐解きながら、棚田氏 の作品についてお話し いただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	無料	70	35	30
棚田康司展関連 子ども講演会	「仏像ってなんだ？ 木彫ってなんだ？」	11月24日(土) 14:30～16:00	小倉絵里子 (高崎市タワー美 術館学芸員)	スライドを使った仏像の説 明を聞いたり、様々な種 類の木の違いを見ながら 仏像について学んだ	小学3 ～6年生	無料	30	2	2
大坂弘道展 関連特別講演会	「大坂弘道の木工 芸とその現在」	1月19日(土) 15:00～16:30	諸山正則 (東京国立近代美 術館主任研究員)	専門家の視点から、木工 芸の世界や大坂氏の作 品の魅力についてお話し いただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	無料	70	70	65
	「正倉院宝物と私 - 30数年に渡る宝 物との関わりから」	1月26日(土) 15:00～16:30	大坂弘道 (出品作家)	作家ご本人より、正倉院 宝物との関わりから自身 の作品に対する思いをお 話しいただいた(於視聴覚 室)	中学生 以上	無料	70	235	86
						720	1003	597	
						計11回 参加者延597名			

コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
鹿島コレクション2 パルピエ×ラブルール 関連 ラ・フォルジュルネ・オ・ジャポンによるスペシャルコンサート	4月22日(日) 15:00~	亀田賢(ピアノ)、 奥村智洋(ヴァイオリン)	ラ・フォルジュルネ・オ・ジャポンから演奏者をお招きし、ロシア音楽を演奏いただいた		観覧料			98
	4月29日(日) 15:00~						90	
N+N展関連ダンス公演「薔薇」	6月30日(土) 16:00~	出演江上真子(日本大学芸術学部演劇学科3年生)、創舞:笹山志帆(演劇学科助手)、舞台装置:鞍掛純一(芸術学科教授)、音楽:川上央(音楽学科教授)			観覧料			50
船田玉樹展関連コンサート「幻の古楽器 七弦琴コンサート」	7月28日(土) 15:00~	楊鵬(中国七弦琴吳派伝人)			観覧料			85
船田玉樹展関連コンサート「幻惑の楽器 テルミンコンサート」	8月25日(土) 15:00~	Ipsos facto 船田奇岑(テルミン)、RAKUSU PROJECT.、西田彩による電子音楽ユニット			観覧料			123
船田玉樹展関連読み語り	9月1日(土) 15:00~16:30	銀河万丈(声優)	浅田次郎『五郎治殿御始末』より「椿寺まで」等(貫井図書館共同主催)	高校生以上	観覧料	70	78	70
棚田康司展関連読み語り	10月7日(土) 15:00~16:30	銀河万丈(声優)	朱川湊人『あした咲く薔』等(貫井図書館共同主催)	中学生以上	観覧料	70	49	45
大坂弘道展関連読み語り	1月12日(土) 15:00~16:30	銀河万丈(声優)	宮部みゆき『幻色江戸ごよみ』等(貫井図書館共同主催)	高校生以上	無料	70	118	57
小林猶治郎展	記念ジャズコンサート 3月17日(日) 15:00~	青木裕子(ピアノ)、田村俊雄(アルトサクソフーン)、朝比奈治郎(ギター)			観覧料			130
	読み語り 3月31日(日) 15:00~16:30	銀河万丈(声優)	重松清『さくら地蔵』等(貫井図書館共同主催)	中学生以上	観覧料	70	64	65
								813
参考 東日本大震災復興支援チャリティコンサート 西江辰郎&アンダローロ 3月13日(水)15:00~16:00					計10回 鑑賞者延813名			

鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
大阪弘道展	トコトコ美術館 [A] vol.9「木」 2月9日(土) 10:30~11:30	真子みほ (当館学芸員)	大坂展を鑑賞した後絵本『ふゆめがっしょうだん』を読み、木っ端に様々な木(爪楊枝、ウッドチップ、アイスの棒等)を貼り付け模様を作り、簡単な木象嵌を楽しんだ	3~6歳 + 保護者	無料	各回 5組	5組 10名	5組 10名
	トコトコ美術館 [B] vol.9「木」 2月9日(土) 15:00~16:00						4組 9名	4組 9名
								19
					計2回 参加者延19名			

）美術講座（美術に関する知識を学ぶ）

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
初心者向けデッサン 「鉛筆で花を描く」 (2日間)	1月13日(日) 10:30～17:00	黒石 千恵子 (女子美術大学日本画研究室専任助手)	百合の花をモチーフに、鉛筆削りから物のとらえ方、立体の意識など鉛筆デッサンの基礎を学んだ	中学生以上	2,000	20	57	20	
	1月14日(月祝) 10:30～17:00								
ドローイング 「音を描いてみよう」	2月2日(土) 13:30～16:00	多和田有希 (アーティスト)	目隠しをして音楽を聴きながら、大きな画用紙にペンやコンテで絵を描いた	中学生以上	300	15	14	10	
おでかけ”三井記念”美術館【A】	3月26日(火) 10:30～17:00	亀井愛(三井記念美術館学芸員) 真子みほ(当館学芸員)	2つの美術館を1日で巡り、「美術館」について学ぶ	新小学4年～ 新中学1年	50	10	2	2	
おでかけ”三井記念”美術館【B】	3月27日(水) 10:30～17:00					10	2	2	
						55	75	34	
						計4回 参加者延34名			

）美術館を楽しむワークショップ（人が集う「場」作り）

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
四季のみじたく 「夏のみじたく 「楽しい人形アクセサリ」	7月1日(日) 11:30～16:00	イシイリョウコ (イラストレーター) rei yanase (アクセサリデザイナー)	布にアクリル絵の具でペイントした小さな人形を作り、ビーズやリボンなどを組み合わせてアクセサリを作った	小学4年生以上	1,000	20	31	19	
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び【A】	8月5日(金) 10:30～12:30	真子みほ (当館学芸員)	館内を探検しながら様々な場所に紙を当て鉛筆でこすり出す方法(フロッタージュ)を使って、美術館をつかまえた	5歳～ 小学3年生	100	10	22	9	
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び【B】	8月5日(金) 14:00～16:00					10	9	9	
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び【C】	8月10日(金) 10:30～12:30					10	17	10	
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び【D】	8月17日(金) 10:30～12:30					10	25	10	
四季のみじたく 「秋のみじたく 「感じたままにつくる秋のアートブック」	9月22日(土) 14:00～17:00	小野奈那子 (フォトグラファー)	用紙を選び各々が持ち寄った写真をスキャン・プリントアウトし、実際の写真や用紙を組み合わせ綴じ、アートブックに仕立てた	小学4年生以上	500	15	13	11	
四季のみじたく 「冬のみじたく 「好きな毛糸を合わせて編むシュシュ」	12月1日(土) 13:30～17:00	今井静枝 (当館職員)	自分の好きな毛糸を3本以上選びまとめて指で鎖編みをしシュシュに仕立てた	小学4年生以上	500	20	26	17	
四季のみじたく 「春のみじたく 「ドローイングバック」	3月30日(土) 10:30～17:00	奥田早織 (布作家)	大きな布にローラーや水鉄砲でアクリル絵具をつけ、その布を切り抜きバックを作る	小学3年生以上	1,000	20	11	11	
						115	154	96	
						計8回 延96名			

） その他

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
ラ・フォルジュルネ・オ・ジャポン+バルビエ×ラブルール展関連ワークショップ	5月3日(木祝) 16:00~17:00	真子みほ (当館学芸員)	「シェエラザード」の楽曲と物語から連想して、当館で展示されたバルビエの「シェエラザード」の背景を色鉛筆で描いた(於国際フォーラム)	小学生	無料	20	63	20
商店街を楽しむワークショップ	10月13日(土) 13:30~17:00	真子みほ (当館学芸員)	くじで決めた店舗に児童が各自取材に出かけ、それをもとにマークを考え60cmのフラッグにガッシュで描いた。フラッグは10月末から1月まで商店街に展示された	小学生	無料 当初500円と していたが商店街負担に	20	20	13
	10月14日(日) 13:30~17:00					20	23	20
軽井沢お泊りワークショップ	11月3日(土)~4日(日) 【1泊2日】	伊藤 さち (作家) 中村 圭佑 (クリエイティブディレクター)	ベルデ軽井沢で一泊二日のワークショップを行った。今年は4グループに分かれ、布とロープで森の中にそれぞれの空間を作った	小学生~大人 (小学生は保護者と共に申込)	大人 9,500 子ども 6,600	20	18	17
						80	61	70
						計4回 延70名		

官内事業計72回 参加者延2,997名

学校関連事業

） スクールプログラム 4月にパンフレットを作成し区内小中高等学校に配布。

団体鑑賞

展覧会	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
船田玉樹展	9月7日(金) 10:40~11:25		練馬区立練馬第三小学校・6年2組	33	2
	9月7日(金) 11:30~12:20		練馬区立練馬第三小学校・6年1組	34	2
棚田康司展	10月25日(木) 10:50~11:25		山崎学園富士見中学校・2年菊組	40	2
	10月25日(木) 11:50~12:25		山崎学園富士見中学校・2年竹組	40	3
	11月8日(木) 13:20~14:00		山崎学園富士見高等学校・3年生	14	1
	11月9日(金) 10:50~11:25		山崎学園富士見中学校・2年梅組	39	1
	11月9日(金) 11:50~12:25		山崎学園富士見中学校・2年桃組	38	1
	11月9日(金) 13:20~14:00		山崎学園富士見高等学校・3年生	13	1
	11月14日(水) 10:50~11:25		山崎学園富士見中学校・2年松組	40	1
	11月14日(水) 13:25~14:00		山崎学園富士見中学校・2年桜組	39	1
11月22日(木) 10:00~10:45		練馬区立石神井東小学校・5年生2クラス	66	4	
小林猶治郎展	3月12日(火) 10:00~10:45		練馬区立石神井東小学校・6年生2クラス	52	4
				448	23
				計12回 延471名	

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
施設見学	5月22日(火) 13:30~14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生	40	1
	5月25日(金) 13:30~14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生		1
	10月6日(土) 13:00~16:00		武蔵大学・博物館学履修生	33	1
	10月4日(木) 11:50~12:25		山崎学園富士見中学校・1年桜組	40	1
	10月10日(水) 11:50~12:25		山崎学園富士見中学校・1年松組	42	2
	10月12日(金) 11:50~12:25		山崎学園富士見中学校・1年梅組	40	1
	10月19日(金) 13:25~14:00		山崎学園富士見中学校・1年竹組	40	1
	10月23日(火) 10:50~11:25		山崎学園富士見中学校・1年菊組	39	1
	10月23日(火) 14:25~15:00		山崎学園富士見中学校・1年桃組	40	3
				314	12
				計9回 延326名	

職場体験 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	見回り
職場体験	6月28日(木) ~29日(金) 9:30~15:00	6月13日(火)	練馬区立石神井西中学校・2年生	3	1
	7月3日(木) ~4日(金) 9:30~15:00	6月20日(水)	練馬区立関中学校・2年生	3	1
		6月22日(金)	練馬区立南が丘中学校・2年生	3	1
		6月14日(木)	練馬区立大泉北中学校・2年生	1	1
	9月27日(木) ~28日(金) 9:30~15:00	9月11日(火)	練馬区立貫井中学校・2年生	3	1
	11月1日(木) ~2日(金) 9:30~15:00	10月26日(金) 16:15~	練馬区立光が丘第三中学校・2年生	3	1
	11月20日(火) ~21日(水) 9:30~15:00	10月30日(火) 16:30~	練馬区立光が丘第二中学校・2年生	3	1
	1月17日(木) 9:30~15:00	1月9日(水)	練馬区立中村中学校・1年生	3	1
	1月22日(火) ~23日(水) 9:30~15:00	1月17日(木) 15:00~	練馬区立豊浜中学校・1年生	3	1
	2月8日(金) 9:30~15:00	1月16日(水) 15:00~	練馬区立大泉学園中学校・1年生	3	1
			28	10	
				計10回 延38名	

職場訪問 次年度の職場体験に向け一年生が来館しインタビューなどを受けた

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
職場訪問	9月7日(金) 14:30～14:40		練馬区立光が丘第四中学校・1年生	1	
				1	0
				計1回	延1名

出張プログラム 担当者が学校へ赴き事業を行った

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
出張プログラム	10月24日(水) 11:45～12:35		山崎学園富士見中学校・2年生	240	
	10月31日(水) 10:35～11:20		練馬区立大泉第六小学校・3年2組	30	
	10月31日(水) 11:25～12:10		練馬区立大泉第六小学校・3年1組	32	
	10月31日(水) 13:25～14:10		練馬区立大泉第六小学校・3年3組	31	
				333	0
				計4回	延333名

スクールプログラム 計17校36回 参加児童・生徒・学生 延1,169名

）ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。

各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

展覧会名	日程	参加人数
バルビエ×ラブルール展	4月17日(火) 15:30～16:30	3
船田玉樹展	7月24日(火) 15:30～16:30	10
棚田康司展	9月24日(火) 15:30～16:30	13
大坂弘道展	12月4日(火) 15:30～16:30	7
小林猶次郎展	2月19日(火) 15:30～16:30	12
		計5回 延45名

）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行っています。

これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したものです。

本年度の貸し出し なし

）その他

学外活動受け入れ 都立大泉桜高校美術部部員 延22名(引率延4名含む)

日時		参加プログラム名	活動内容	人数	引率
7月27日(金)	10:00～17:00	水墨画で扇子を作ろう【A】	プログラムの準備・片付け、写真撮影、制作補助等	5名	1名
		水墨画で扇子を作ろう【B】			
8月5日(日)	10:00～17:00	美術館をつかまえる!【A】		4名	1名
		美術館をつかまえる!【B】			
8月18日(土)	10:00～18:00	日本画を描こう!【B】		5名	1名
8月19日(日)	10:00～18:00		4名	1名	

教育普及事業全参加者 計4,233名  
(平成23年度 計2,696名)

## 平成24年度 博物館実習実績

実習実施期間:平成24年度9月6日(木)～16日(日)<10日間>

No	大学名	学部等	人数
1	駿河台大学	メディア情報学部 メディア情報学科	1名
2	大東文化大学	文学部 日本文学科	1名
3	尚美学園大学 大学院	芸術情報研究科 情報表現専攻	1名
4	実践女子大学	文学部 美学美術史学科	1名
5	大正大学	文学部 歴史文化学科 日本史専攻	1名
6	明治学院大学	文学部 芸術学科 美術史系列	1名
7	法政大学	人間環境学部 人間環境学科	1名
8	清泉女子大学	文学部 文化史学科	1名
9	共立女子大学	文芸学部 文芸学科 造形芸術コース	1名
10	跡見学園女子大学	文学部 人文学科	1名
11	学習院大学	文学部 哲学科	1名
12	武蔵野美術大学 大学院	造形研究科修士課程 美術専攻油絵コース	1名
13	立教大学	コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科	1名
合		計	13名

(23年度 14名)

## 平成24年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(チラシ発送作業・新聞資料作成・イベントの手伝い等)を担ってもらうボランティア活動である。

平成24年7月に第7期が終了し、8月から第8期が始動し、計56人が活動している。

### サポーター活動の実績

平成25年3月31日現在

展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
バルビエ・ラブルール展	会場整理等イベント補助	7日	15名
N+N展	会場整理等イベント補助	1日	1名
船田玉樹展	会場整理等イベント補助	2日	5名
大坂弘道展	チラシ等発送準備	1日	4名
小林猶治郎展	会場整理等イベント補助	1日	2名
区民美術展	会場整理等イベント補助	5日	42名
教育普及事業	引率等イベント補助	2日	2名
練馬区ゆかりの作家調べ		10日	70名
サポーター通信「階(きざはし)」編集		10日	70名
新聞切り抜き資料作成		80日	610名
資料室整理作業		29日	127名
館長を囲む会		3日	43名
合		151日	991名

(平成23年度 138日 927名)

(3) 美術作品の収集事業

美術作品の収蔵状況

(平成25年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3	191	191	
23		8		13								1		123	145	145	
24		32		10		33									75	75	
合計	31	251	189	887	75	525	1	7	0	1	1	21	1	459	298	2185	2483

平成25年3月31日現在  
寄託作品 721 件

寄贈・寄託計3,204件

## 平成24年度練馬区立美術館寄贈・寄託リスト

(1)購入 なし

(2-1)寄贈作品

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
1	小野具定	破船	1961	シナベニヤ着色	額	65.2×90.8
2	小野具定	断崖スケッチ		紙本着色	額	10号
3	上條静光	原題不詳(海辺の家)	1935頃	紙本着色	まくり	108.0×137.0
4	上條静光	工場	1938	紙本着色	まくり	224.0×165.0
5	上條静光	凧	1941	紙本着色	まくり	151.0×184.0
6	上條静光	照壁	1942	紙本着色	まくり	216.0×155.0
7	上條静光	雪椿	1943	紙本着色	まくり	212.0×151.0
8	上條静光	自画像	1945・46頃	紙本着色	まくり	186.0×122.0
9	上條静光	天紅	1951	紙本着色	まくり	183.0×124.0(3枚組)
10	上條静光	洗馬図	1952	紙本着色	まくり	183.0×124.0(3枚組)
11	上條静光	厩橋	1956	紙本着色	まくり	122.0×153.0
12	上條静光	日暮里跨線橋	1957	紙本着色	まくり	52.5×67.5
13	上條静光	厩橋の朝	1958	紙本着色	まくり	46.8×52.8
14	上條静光	八重洲口	1958	紙本着色	まくり	51.5×66.5
15	上條静光	滝野川中里トンネル風景	1959	紙本着色	まくり	47.0×53.0
16	上條静光	築地川三吉橋	1959	紙本着色	まくり	46.7×52.7
17	上條静光	練馬球体ガスタンク	1959	紙本着色	まくり	47.0×52.7
18	上條静光	品川八つ山下	1960	紙本着色	まくり	53.0×46.0
19	上條静光	麻布六本木いちみ坂	1960	紙本着色	まくり	46.5×53.0
20	上條静光	江東のうたA(木場)	1961	紙本着色	まくり	75.0×117.0
21	上條静光	江東のうたB(砂町水門)	1961	紙本着色	まくり	72.0×103.0
22	上條静光	江東のうたC(大島工場)	1961	紙本着色	まくり	138.0×85.0
23	上條静光	江東のうたD(小名木川)	1961	紙本着色	まくり	73.0×103.0
24	上條静光	小名木川	1961	紙本着色	まくり	102.0×73.0
25	上條静光	駒形どじょうや	1962	紙本着色	まくり	32.0×41.0
26	上條静光	秋葉原	1962	紙本着色	まくり	32.0×41.5
27	上條静光	本郷赤門の朝	1962	紙本着色	まくり	45.5×53.0
28	上條静光	日本橋	1969	紙本着色	まくり	53.0×65.0
29	上條静光	千川風景	1960年代以降	紙本着色	まくり	123.0×153.0
30	上條静光	補陀落那智の御山	1987	紙本着色	まくり	145.0×90.0
31	上條静光	1945年の夏	1987	紙本着色	まくり	60.5×40.5
32	上條静光	地下鉄スター		紙本着色	まくり	121.0×151.0
33	豊原国周	東都不二勇気の肌 河原崎権十郎の熊坂お長 13代目市村羽左衛門のきられおとみ 6代目坂東三津五郎の鬼神おまつ	元治元年(1864)	錦絵		各約21.0×15.0
34	豊原国周	歌舞伎十八番ノ内 勸進帳 市川左団次の富樫 9代目市川團十郎の弁慶 8代目岩井半四郎の義経	明治12年2月	錦絵		大判3枚続
35	歌川国貞	仮名手本忠臣蔵 三段	文化・文政期	錦絵		大判3枚続
36	歌川国芳	3代目岩井桑三郎の蟹千鳥 松本錦升の瀬尾太夫 5代目沢村長十郎の俊寛僧都	嘉永2年(1849)1月	錦絵		大判3枚続
37	歌川芳虎	外国人物尽 魯西亜女人	万延2年(1861)	錦絵		大判

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
38	二代歌川芳艶	近世義勇伝 宇悔幸吉	明治6年 (1873)	錦絵		大判
39	二代歌川芳艶	近世義勇伝 岡部三郎	明治6年 (1873)	錦絵		大判
40	二代歌川芳艶	近世義勇伝 高橋多一郎	明治6年 (1873)	錦絵		大判
41	二代歌川芳艶	近世義勇伝 斎藤監物	明治6年 (1873)	錦絵		大判
42	二代歌川芳艶	近世義勇伝 佐野竹之助	明治6年 (1873)	錦絵		大判
43	二代歌川芳艶	近世義勇伝 黒澤忠三郎	明治6年 (1873)	錦絵		大判
44	二代歌川芳艶	近世義勇伝 森五六郎	明治6年 (1873)	錦絵		大判
45	月岡芳年	近世狭義伝 新待勘太	慶応元年 (1865)10月	錦絵		大判
46	豊原国周	5代目尾上菊五郎の赤垣源蔵	明治17年 (1884)	錦絵		大判2枚続
47	西光亭芝国	7代目片岡仁左衛門	文政年間	錦絵		大判
48	歌川芳虎	武者鑑 一人相合 右大臣頼朝 平政子 木曾左馬頭義仲	文久3年 (1863)	錦絵		大判
49	歌川芳虎	武者鑑 一人相合 梶原源太景季 景季妻 朝比奈三郎義秀 松島	文久3年 (1863)	錦絵		大判
50	歌川広重	扇屋内花扇	文政年間	錦絵		大判
51	二代目歌川国貞	新吉原江戸町寺丁目 五勢楼 元春	明治元年 12月	錦絵		大判
52	豊原国周	3代目中村仲蔵の野毛重右衛門 市川左団次の北向の虎蔵 5代目尾上菊五郎の福住善吉 2代目尾上菊之助の倅卯之助	明治10年	錦絵		大判3枚続
53	歌川国芳	三国志長板橋の図	嘉永5年 (1852)4月	錦絵		大判3枚続
54	春好斎北洲	富嶽三十六景 隠田の水車	1840年頃	錦絵		小判
55	春好斎北洲	富嶽三十六景 信州諏訪湖	1840年頃	錦絵		小判
56	春好斎北洲	富嶽三十六景 甲州石班澤	1840年頃	錦絵		小判
57	春好斎北洲	富嶽三十六景 相州梅澤左	1840年頃	錦絵		小判
58	歌川豊春	暫	文化・文政期	摺物		色紙判
59	作者不詳	花魁図	19c前半	経木・墨画 淡彩		22.5×16.1
60	作者不詳	針箱図	19c前半	経木・墨画		22.5×16.1
61	作者不詳	津山風景 十二月ノ内 (五月)	昭和22年3月刻	木版画		24.6×38.7
62	作者不詳	(遠山風景)	昭和前期	木版画		12.0×17.7
63	作者不詳	(木立)	昭和前期	木版画		20.7×17.5
64	永礼資朗	大原風景	昭和前期	木版画		26.2×36.0
65	小野忠重?	ローマ	不詳	木版画		22.3×16.3
66	伊藤正規	本をもつ少女	1950	油彩・画布		80.7×60.5

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
67	伊藤正規	黒い机の静物	1953	油彩・画布		91.3×116.5
68	根守悦夫	少年像	1943	油彩・画布	額	73.0×60.8
No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
69	小林猶治郎	なぎさ	1927	油彩・画布	額	72.0×116.0
70	小林猶治郎	鶏頭	1932	油彩・画布	額	91.0×91.1
71	小林猶治郎	童心双六	1937	油彩・画布	額	135.0×165.0
72	富田有紀子	59	1997	油彩・画布	パネル	162.0×324.0
73	平澤熊一	習作(題不詳)	1938頃	水彩、パステル・紙		27.4×39.4
74	平澤熊一	一人行く	1972	油彩・画布	額	19×22
75	浦久保義信	不二(山中湖)	不詳	油彩・画布	額	25×33

(2-2)寄贈資料 なし

(3-1)寄託作品

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
1	菊池容斎	天逆鉞・風神雷神図	慶應3年	絹本墨画	軸三幅	96.0×32.0
2	渡邊省亭	深山月	明治20年代	絹本墨画	軸	137.7×52.5
3	本多天城	墨画山水図	昭和初期	紙本墨画	軸	126.2×42.7
4	高橋萬年	土	1939年	紙本着色	二曲一双屏風	各170.0×170.0
5	船田玉樹	椿	1935	絹本着色	まくり	55.5×86.5
6	船田玉樹	レモンと蛾	1938年頃	絹本着色	まくり	71.5×90.0
7	船田玉樹	浄晨	1941	絹本墨画 着色	まくり	58.5×88.0
8	船田玉樹	春雷	1941	絹本着色	まくり	56.5×88.5
10	船田玉樹	武蔵野春秋	1942年	紙本墨画	まくり	45.7×60.0
11	船田玉樹	連峰雲	1942年頃	絹本着色	まくり	52.6×58.8
12	船田玉樹	紅葉(竜田川)	1942年頃	絹本着色	まくり	56.5×88.5
13	船田玉樹	四季山水花鳥画帖	1942年頃	絹本墨画	着画帖	各22.7×26.5
14	船田玉樹	紅梅(利休)	1942年頃	絹本着色	まくり	63.0×74.5
15	船田玉樹	九品佛	1943年頃	紙本墨画	まくり	43.0×63.2
16	船田玉樹	晚春譜	1944年頃	絹本着色	まくり	137.5×39.0
17	船田玉樹	牡丹	1944年頃	絹本着色	まくり	33.0×42.3
18	船田玉樹	富士山	1944年頃	絹本着色	まくり	53.0×59.5
19	船田玉樹	赤い山	1950年代	紙本着色	軸	31.7×47.5
20	船田玉樹	水墨山水	1950年代	紙本墨画	軸	32.2×53.5
21	船田玉樹	水墨山水	1950年代	絹本墨画	軸	31.0×48.0
22	船田玉樹	松	1950年代	紙本墨画	まくり	56.8×90.5
23	船田玉樹	新緑の山	1950年代	紙本着色	軸	32.0×47.3
24	船田玉樹	水墨河童	1950年代	紙本墨画	軸	46.3×55.0
25	船田玉樹	水墨山水画卷1・2	1950年代	紙本墨画	まくり(2 枚)	27.0×113.5 27.0×68.0
26	船田玉樹	瀧の秋	1961年頃	紙本着色	額装	90.0×75.0
27	鶴岡政男	転がっている首	1950	石膏に着色	台座なし	16.8×21.0×17.5
28	鶴岡政男	死	1950	石膏に着色	台座なし	21.0×12.5×19.2
29	鶴岡政男	女の顔	1950	テラコッタ	台座なし	28.5×9.5×8.7
30	鶴岡政男	男の顔	1951	テラコッタ	台座なし	6.5×4.5×9.3
31	鶴岡政男	人体	1951	ブロンズ	台座なし	16.5×4.5×13.7
32	大野五郎	ひろこ像	1984	色鉛筆・紙	額	23.4×15.7
33	吉井 忠	ひろこ像		鉛筆・紙	額	23.3×15.7
34	北川 實	奈良公園 丸窓の家	1941	水彩・紙	額	34.0×44.0
35	関川護(ゆずる)	花		油彩キャンパ	額	40.7×31.8
36	小林猶治郎	雪渓	1924年	油彩・板	額	24.0×26.0
37	小林猶治郎	勝山岩井袋	1927年	油彩・画布	額	59.0×59.0
38	小林猶治郎	人間 3	1927年	油彩・画布	額	60.5×60.5
39	小林猶治郎	夜櫻	1930年	油彩・画布	額	91.0×106.0
40	小林猶治郎	人間 11	1930年晩 冬	油彩・画布	額	73.0×90.0

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
41	小林猶治郎	三味線と一味	1930年仲冬	油彩・画布	額	46.0×137.0
42	小林猶治郎	おめでたう	1931年頃か	油彩・布	額	122.0×84.0
43	小林猶治郎	がらくた	1934年	油彩・画布	額	107.0×90.0
44	小林猶治郎	群像	1935年	油彩、クレヨ	額	33.0×23.0
45	小林猶治郎	乗物盡し	1935年	油彩、墨?	額	33.0×23.0
46	小林猶治郎	入江(習作 第六〇四)	1941年	油彩・画布	額	90.0×117.0
No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
47	小林猶治郎	破れ靴	1947年晩春	油彩・画布	額	62.0×62.0
48	小林猶治郎	静閑	1949年初春	油彩・板	額	39.0×70.6
49	小林猶治郎	トルソー	1952年	油彩・板	額	71.0×37.0
50	小林猶治郎	しよくぶつ	1953年	油彩・板	額	71.0×37.0
51	小林猶治郎	作品15(印象)	1954年	油彩・板	額	71.0×38.0
52	小林猶治郎	タイトル不詳(螺旋)	1955年頃か	油彩・画布	額	71.0×38.0
53	小林猶治郎	軌	1956年	油彩・画布	額	46.0×61.0
54	小林猶治郎	静物	1958年初冬	油彩・画布	額	21.6×27.2
55	小林猶治郎	達磨さん旅に連れて行ってあげよう	1984年晩春	油彩・画布	額	137.0×46.0
56	小林猶治郎	素描写生行脚	1985年晩春	油彩・画布	額	99.0×80.0

(3-2)寄託資料

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
1	鶴岡政男資料	スケッチブック		鉛筆・他	1冊(バラ14枚)	
2	鶴岡政男資料	スケッチブック		鉛筆・他	1冊(バラ3枚)	
3	鶴岡政男資料	カット集ファイル		鉛筆・他	1冊(バラ40枚、小画帖1)	
4 ~ 6	鶴岡政男資料	・制作道具一式(パレット2枚、パステル箱1個、筆2本、筆入れ用雑貨2個、イーゼル1本) ・モチーフ・コレクション(土器片3個、古陶器片5個、ローソク立2本、火入1個、小皿1枚、鉢1個、石膏河童頭部1個) ・玩具一式(木魚1個、小鼓1個、			セット3件	

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
7 ~ 9	鶴岡政男資料	・NOVA展関連録音 テープ10 ・第7回 NOVA展ポスター(松本 俊介デザイン、78.0× 35.0cm) ・関連文献他 (『日本文学全集 32 石川淳』(カラー挿画)、 『血と薔薇』2号、芳名 帳5冊、『文芸』1979年1 月~1980年12月号(表 紙装画)その他文献3			セット3 件	

## 平成24年度 収蔵品貸出一覧

東京国立近代美術館ほか6施設の展覧会に、38作品の貸し出しを行った。

(主な貸出先)

- ・ 吉川靈華の「資料一式」を東京国立近代美術館に
- ・ 鏑木清方の「道成寺」ほかを平塚美術館に
- ・ 中村宏の「B 7 2 7」ほかを青森県立美術館に
- ・ 中村宏の「現代手帖1969年3月号表紙原画」ほかをニューヨーク近代美術館
- ・ 寺田政明の「花と骨」を北九州市美術館に
- ・ 塩出英雄の「芙蓉」ほかを岡山県立美術館に
- ・ 木村荘八の「大崎風景」ほかを東京ステーションギャラリーなどに

## 平成24年度美術館収蔵品データベースに対する反響

当美術館では、区のホームページ上に展覧会情報等を掲載している。  
また、収蔵美術品をデジタルデータ化し、パソコン端末での管理をはじめ広く学校教育、生涯学習等の現場で利用していただく目的で、平成16年度末(平成17年3月)に整備した。

なお、今年度の9月より美術館収蔵品データベースを新システムに変更し、利用者がネットワークを通じて練馬区立美術館の収蔵品を検索ができるようにした。

以下は、平成24年度のWebサーバへのアクセス件数

	美術館トップページ	データベース
4月	14,655件 2位	45,732件
5月	21,232件 1位	39,589件
6月	10,780件 —	43,623件
7月	14,825件 2位	30,408件
8月	15,640件 1位	37,199件
9月	11,777件 2位	1,100件
10月	8,961件 2位	708件
11月	8,456件 2位	487件
12月	7,181件 —	705件
1月	10,536件 —	839件
2月	8,511件 —	1,012件
3月	6,030件 —	603件
合計	138,584件	202,005件
平均	11,549件/月	16,834件/月
(平成23年度)	155,798件	669,107件

## (4) 施設利用状況

### 平成24年度 施設利用状況

#### 展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	44	245	25,405	280	87.5
企画展示室	5	28	3,578	32	87.5
合計	49	273	28,983	312	87.5

#### 創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
18	371	31	5,496	463	80.1

#### 施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	108	9.0	最高 4.30倍
	当選	42	3.5	平均 2.57倍
企画展示室	申込	9	-	11・12月の一部貸出 抽選は平成24年6月に行っ た。  倍率 2.25倍
	当選	4	-	

展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

## (5) ぐるっとパスの利用状況

### 平成24年度ぐるっとパスの利用状況

「ぐるっとパス」とは、東京の美術館・博物館等共通入場券のことである。参加している都内の美術館・博物館計75か所は、各館の入場券を束ねたパス(冊子になっていて、使用開始日から2か月間有効)を1冊2,000円で販売する。当館においても、観覧者と収入の増を見込んで平成23年度から参加している。

平成24年度は、パス167冊(上半期116、下半期51)を売り上げた。また、パスの所持者1,836人が当館を観覧した。

#### ぐるっとパスの収支

##### 1 支出

(1) 負担金 200,000 円

(2) 郵送料 525 円 上半期売上金をぐるっとパス事務局に納入する際の郵送料

合 計 200,525 円

##### 2 収入

(1) 販売歩合 売上の5% @2,000×167冊×5% = 16,700 円

(2) 配分金 パス利用の入館者数(1,836人)に応じた配分金 206,613 円

(3) 負担金返還 + 報償金 - 下半期売上金(下半期売上金は当館の収入とするため)  
200,000 + 10,000 - 102,000 円 = 108,000 円

(4) 下半期売上金 102,000 円

合 計 433,313 円

収入 - 支出 433,313 - 200,525 = 232,788 円

## (2) 展覧会事業

## 平成25年度 展覧会事業日程

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月14日 6月2日 <43日間>	【有料】 牧野邦夫 写実の精髓展				野地
6月7日 6月16日 <9日間>	【無料】 第59回練馬区美術家協会展	内田	6月7日	【無料】 コレクション展 時代と美術1 <27日間>	真子
6月18日 6月23日 <6日間>	(一般貸出)		7月7日		
6月27日 7月7日 <10日間>	【無料】 N + N展2013	真子	<27日間>		
7月14日 9月8日 <50日間>	【有料】 鹿島茂コレクション3モダン:パリの装い - 19世紀から20世紀初頭のファッション・プレート				小野
9月15日 11月24日 <61日間>	【有料】 生誕120年 宮 芳平展 - 野の花として生きる。				喜多
11月30日 12月28日 <25日間>	(一般貸出)		11月30日	【無料】 渡辺千尋 - 復刻の聖母 - 展 <57日間>	小野
1月11日 1月15日 <4日間>	中学校生徒作品展	中野			
1月18日 1月23日 <5日間>	小学校連合同工展	中野			
1月25日 1月26日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展	中野	2月9日		
2月1日 2月9日 <8日間>	【無料】 第45回練馬区民美術展	内田	<57日間>		
2月16日 4月6日 <43日間>	【有料】 野口哲哉の武者部類図鑑展				加藤

# 「牧野邦夫 写実の精髓」展

## 開催要項

### 1 開催趣旨

牧野邦夫(1925～86年)は、大正末に東京生まれ、1948年に東京美術学校油画科を卒業したが、戦後の激動期に次々に起こった美術界の新たな潮流に流されることなく、まして団体に属して名利を求めることなどからは遠く身を置いて、ひたすら自己の信ずる絵画世界を追求し続けた。

高度な油彩の技術で、胸中に沸き起こる先鋭で濃密なイメージを描き続けた牧野の生涯は、描くという行為の根底に時代を超えて横たわる問題と格闘する日々であった。レンブラントへの憧れを生涯持ち続けた牧野の視野には、一方で伊藤若冲や葛飾北斎、川鍋暁斎といった画狂人たちの系譜に連なるような、描くことへの強い執着を感じる。北方ルネサンス的なリアリズムと日本の土俗性との葛藤という点では、岸田劉生の跡を継ぐ者という見方も出来るだろう。

没後の1990年に開催された遺作展は作品愛好家と画家たちに強い印象を与えたが、牧野が精魂こめて描き遺した作品群を再度調査し直し、より充実度を増しての公開を目指す20年後の本展では、より多くの人々にその真価を気付いてもらう絶好の機会となった。

2 会期 平成25年4月14日(日)～6月2日(日)

3 主催 練馬区立美術館 / 日本経済新聞社、テレビ東京  
\*協賛 = ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン  
サントリーホールディング株式会社

4 内容 油彩画・素描など120点

5 観覧料 有料

6 図録 図録兼書籍として制作(求龍堂)  
(2,530冊販売、購入比率15%)

### 7 イベント

- ・学芸員とゲストによるギャラリートーク、講演会  
(五味文彦、諏訪敦、石黒賢一郎、山下裕二)
- ・コンサート  
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンスペシャルコンサート  
(フルート：長谷見誠、ピアノ：神水睦子)  
牧野邦夫が愛したギター曲コンサート  
(フラメンコギタリスト：三澤勝弘)
- ・声優 銀河万丈による読み語り(江戸川乱歩「人間椅子」)

8 観覧者数 17,415人(405人/日)当初見込 11,760人(280人/日)

9 担当 主任学芸員 野地耕一郎

## 練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術1

### 「1930～50年代前半 伸縮する内と外 鬨光《花と蝶》を中心に」

#### 開催要項

- 1 開催趣旨 練馬区立美術館の開館30周年に向けたコレクション展の、第一回目を開催した。  
当館の所蔵品約3,000点(寄託作品含む)は、近現代の日本の作家を中心に収集されてきた。「時代と美術」と名付けたこのシリーズは、作品や作家を単体で眺めるのではなく、それぞれがどのような時代背景の中で生まれ、どのような役割を担ってきたのかという視点を持ち展開していく。  
第1回は1930～50年代前半に焦点を当て、鬨光を中心に、斎藤長三や鳥海青児、寺田政明、鶴岡政男らの、戦中戦後の作品を展示した。
- 2 会期 平成25年6月7日(金)～7月7日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館
- 4 内容 絵画、版画、彫刻等 46点
- 5 図録 リーフレットを作成・無料配布
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク 6月9日(日)、15日(土)  
鑑賞プログラム「トコトコ美術館 テーマ：花」(2回開催) 6月22日(土) 講師：当館学芸員 対象：3～6歳+保護者・各回5組  
ワークショップ「わたしのれきし 年表を作る」7月7日(日) 講師：当館学芸員 対象：小学生～大人・20名
- 8 観覧者 6,515人(241人/日) 当初見込6,250人(232人/日)
- 9 担当 学芸員 真子みほ

# N+N 展 2013 「アートいないないばあ アートの思考法 」

## 開催要項

- 1 開催趣旨 5 回目を迎える日本大学芸術学部（日藝）美術学科と練馬区立美術館の共同企画展。今年度は卒業生や教員 16 名の作品を展示した。  
子供をあやす時に行う「いないいないばあ」が、分離・再会、いない・いる、隠れる・現れるといった、予期や願い、驚きや喜びに通じるように、普段は隠されている芸術作品の制作や発表にともなう独特の思考法と世界観を、作家本人のテキストを作品とともに展示することであらわにし、アートの思考の可能性を再検証した。なお、この展覧会は平成 25 年度日本大学芸術学部長指定研究の一環として開催された。
- 2 会期 平成 25 年 6 月 27 日（木）～7 月 7 日（日）
- 3 主催 練馬区立美術館 / 日本大学芸術学部美術学科
- 4 内容 彫刻、絵画、写真など 77 点を展示
- 5 図録 展覧会終了後、日本大学芸術学部美術学科が記録集を制作予定
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント  
ワークショップ「マスキングテープでいないいないばあ 地上絵をつくる - 」  
6 月 29 日（土）講師：海老沢一仁（出品作家）対象：小学生以上・20 名  
アーティストトーク 6 月 30 日（日）大槻孝之（出品作家、美術学科教授）、  
笹井祐子（出品作家、美術学科准教授）、藤原成一（評論家）  
シンポジウム 7 月 6 日（土）大西若人（朝日新聞社編集委員）、蔵屋美香（東京国立近代美術館美術課長）、高橋幸次（美術学科教授）、富井大裕（出品作家、美術学科助教）
- 8 鑑賞者 2, 232 人（223 人/日）当初見込 2, 000 人（200 人/日）
- 9 担当 学芸員 真子みほ

# 鹿島茂コレクション3 モダン・パリの装い 19世紀から20世紀初頭のファッション・プレート

## 開催要項

### 1 開催趣旨

平成23年度よりフランス文学者の鹿島茂氏(1949 - / 明治大学教授)の膨大な古書コレクションから連続的に展覧会を開催している。第1回目は、19世紀フランスを代表する挿絵画家、J.J.グランヴィルを、第2回目では、アール・デコ期を中心に活躍した共にフランス、ナント出身の2人の画家 ジョルジュ・バルビエとジャン＝エミール・ラブルール を紹介した。

第3回にあたる本展では、19世紀から20世紀初頭のアール・デコの時代までに描かれたモードのイラストレーションを紹介、合わせて、京都服飾文化研究財団の貴重なコレクションより、同時代を代表する華麗な衣裳を展示、それぞれの時代の流行のファッションから華やかな女性の装いを展覧する。

ファッション・プレートを手掛けたアーティストとして、19世紀では、オーラス・ヴェルネ(Horace Vernet, 1789-1863)、ガヴァルニ(Gavarni, 1804-66)、ルイ・マリー＝ランテ(Louis-Marie Lanté, 1789 - ?)を、20世紀初頭では、バルビエと同じく、アール・デコの時代に活躍したシャルル・マルタン(Charles Martin, 1848 - 1934)、アンドレ・マルティ André Marty, 1882 - 1974)、ジョルジュ・ルパップ(Georges Lepape, 1887 - 1971)の作品を中心に紹介する。フランス近代のファッション・プレートを中心に、イラストレーションの熟達した世界を披露する。

- 2 会期 平成25年7月14日(日)～9月8日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会
- 4 後援 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本
- 5 協力 公益財団法人 京都服飾文化財団
- 6 特別協賛 資生堂
- 7 協賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
- 8 展示内容 版画、古書(挿絵本)、ポスター、スケッチ、衣裳を中心とした約200点
- 9 図録 図録兼書籍として制作(求龍堂)
- 10 観覧料 有料
- 11 イベント 講演会(鹿島茂、深井晃子) ギャラリートーク(鹿島茂)  
シャンソン・コンサート(広瀬敏郎) 読み語り(銀河万丈)
- 12 観覧者 12,250人(250人/日)
- 13 担当 学芸員 小野寛子

# 「生誕 120 年 宮 芳平展 野の花として生きる。」

## 開催要項

- 1 開催趣旨 新潟県魚沼に生まれた宮芳平（1893～1971年）は、東京美術学校に学びます。在学中、第8回文展に自信作《椿》を出品するも落選、このとき審査員長であった森鷗外を訪ねたことから二人の交流がはじまり、宮をモデルとした鷗外の短編小説「天寵」が生まれました。1915年の第9回文展にはアールヌーボーを取り入れた象徴派風の点描画による作品《海のメランコリー》が入選。初期にはキリスト教的雰囲気をもった制作を続け、やがて1923年に長野県諏訪高等女学校の美術教師として赴任し、65歳で退職するまで教職を務めながら、自然を対象に主観的風景画を描き続けました。  
本展は生誕120年を記念し、生涯を市井の画家として生きた宮の画業を油彩画作品、素描、銅版画、ペン画などにより回顧するものです。
- 2 会期 平成25年9月15日(日)～11月24日(日)  
\*巡回予定  
茅野市美術館 平成25年8月2日～9月1日  
島根県立石見美術館 平成25年12月21日～平成26年2月24日  
新潟県立近代美術館 平成26年4月～5月  
安曇野市豊科近代美術館 平成26年7月～8月
- 3 主催 練馬区立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 4 協賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
- 5 内容 宮芳平の油彩画、版画、素描、資料など約200点。
- 6 図録 図録兼書籍として制作（求龍堂）
- 7 観覧料 有料
- 8 イベント 講演会、ギャラリートーク、コンサート、読み語り等
- 9 観覧者数見込 10,000人（164人/日）
- 10 担当 学芸員 野地耕一郎、喜多秀臣

# 渡辺千尋 - 復刻の聖母 - 展

## 開催要項

### 1 開催趣旨

1944年、東京に生まれた渡辺千尋は、桑沢デザイン学校でグラフィックを学び、当初はデザインや挿画の仕事に携わったが、かたわら銅版画の制作をはじめ、1979年日本版画協会奨励賞を受賞し、1989年にはチェコ国立版画美術館に「象の風景」シリーズ全作品が買い上げられるなど、2008年に急逝するまで銅版画家として活躍した。

その一方で、『ざくろの空 頓珍漢人形伝』（第1回蓮如賞受賞）などを著した文筆家としての活動も知られている。また、渡辺は16世紀末に日本ではじめて制作された銅版画とされている「セビリアの聖母」を復刻し、その道程は自身の著書『殉教の刻印』（第8回小学館ノンフィクション大賞優秀賞受賞）に詳細に記されている。本展では、この復刻の「セビリアの聖母」に焦点をあてながら、渡辺の画業を、初期のグラフィックの仕事から銅版画、油彩画まで紹介する。

2 会期 平成25年11月30日（土）～平成26年2月9日（日）

3 会場 2階常設展示室

4 主催 練馬区立美術館

5 展示内容 版画、装丁、油彩など約50点

6 図録 リーフレットを制作。

7 観覧料 無料

8 イベント ギャラリー・トークなど開催予定。

9 観覧者数 8,360人（190人/日）

10 担当 学芸員 小野寛子

むしやぶるいずかん  
「野口哲哉の武者分類図鑑」展  
開催要項

1 開催趣旨

1980年生まれの野口哲哉は、実際の制作と同じ手順で精巧なミニ甲冑を作り、人形に着せて、その武者たちの物語を紡ぎだす、洒脱と迫真を相持った美術家です。

南蛮渡来のシャネルのマークを家紋とした甲冑を身にまとった“紗鎌家”の武者像「シャネル侍着甲座像」がある一方で、兜に付いたプロペラ型の立物で空中を浮遊する武者の絵画作品「ホバリングマン 浮遊図」は当時あたかもそんな武者がいたかのように、巧妙に古びた画面を演出しています。野口が作品を制作する際に思い描くストーリーは彼曰く“でっちあげ”ですが、サムライ、甲冑への知識に裏付けられた空想世界は実に豊かで、史実とのはざまを行き来するユニークで独創的なものとなっています。加えて、甲冑の表現の正確さや、サムライたちの立ち振る舞い、表情の豊かさが作品に厚みを与えていると言えます。

作家はまだ30代半ばで活動期間は短いとはいえ、コレクターは国内外に及び、展覧会出品作、個展での評価も高く、今まさに注目される作家の一人です。

一貫して鎧武者をモチーフに制作する野口のほぼ全作品と言える約70点を中心に、彼の発想の原点となった古今の美術作品や写真、グラフィックデザインなどを併せて展示し、時代を超越し、現代へと脈々と続くカッコいい鎧武者の系譜を辿る展覧会です。

- |          |  |
|----------|--|
| 2 会期     | 平成26年2月16日(日)～4月6日(日)                      |
| 3 主催     | 練馬区立美術館 朝日新聞社                              |
| 4 内容     | 野口哲哉の立体・平面作品約70点に加え、甲冑、近世・近代の<br>絵画作品、古写真等 |
| 5 観覧料    | 有料   |
| 6 図録     | 図録兼書籍として制作予定(青幻社)                          |
| 7 イベント   | 講演会、ギャラリートーク、コンサート、読み語り等                   |
| 8 観覧者数見込 | 8,000人(186人/日)                             |
| 9 担当     | 学芸員 加藤陽介                                   |

平成25年度 教育普及事業計画(案)

館内事業

） 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	N+N展関連ワークショップ 「マスキングテープでいいいいいばあ 地上絵をつくる」 講師:海老沢一仁(出品作家)	6月29日(土) 13:30~17:00	1回	小学生 ~大人	20名	19名
2	コレクション展関連ワークショップ 「わたしのれきし 年表を作る」 講師:当館学芸員	7月7日(日) 13:30~17:00	1回	小学生 ~大人	20名	19名
3	鹿島コレクション3関連美術講座 木版リトグラフ「描いて作る版画に挑戦！」 講師:齋藤美穂子(町田市国際版画美術館)	8月3日(土)・4日(日)	1回 (2日制)	小学生	20名	
4	鹿島コレクション3関連ワークショップ 「ぼんぼんステンシル いろんな型紙で絵を描こう」 講師:当館学芸員	8月2日(金)・9日(金) ・10日(土)	3回	小学生	各回 20名	
5	鹿島コレクション3関連ワークショップ 「100年前の Chapeau(シャポー)」 講師:当館学芸員	8月18日(日)	2回	小学生 +保護者	各回 10組	
		8月23日(金)2回・ 24日(土)・25日 (日)	4回	3~6歳 +保護者	各回 10組	
6	宮芳平展関連美術講座	11月	1回	未定	未定	
7	野口哲哉展関連美術講座	2月	1回	未定	未定	

ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	牧野邦夫展	4月20日(土)		自由参加		40
2		5月4日(土)		自由参加		80
3		5月18日(土)		自由参加		60
4		6月1日(土)		自由参加		270
5	コレクション展	6月9日(日)		自由参加		30
6		6月15日(土)		自由参加		30
7	N+N展	6月30日(土)		自由参加		50
8	鹿島コレクション3展	7月27日(土)	1回	自由参加		
9	宮芳平展	12~1月(土)	未定	自由参加		
10	野口哲哉展	2~4月(土)	未定	自由参加		

コンサート・ライブパフォーマンス

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	牧野邦夫展関連読み語り「江戸川乱歩「人間椅子」ほか 出演:銀河万丈(声優)	5月11日(土)	1回	高校生 以上	70名	75
2	牧野邦夫展関連フラメンコ・ギター コンサート 出演:三澤勝弘(スラメンコギター)	5月25日(土) 15:00~16:00	1回	自由鑑賞		150
3	鹿島コレクション3 関連シャンソンコンサート 出演:広瀬敏郎(シャンソン歌手)	8月3日(土) 15:00~16:30	1回	自由鑑賞		

4	鹿島コレクション3関連読み語り 夢野久作「童貞」ほか 出演:銀河万丈(声優)	8月4日(日)	1回	高校生以上	70名	
5	宮芳平展関連コンサート 出演:未定	10月	1回	自由鑑賞		
6	宮芳平展展関連読み語り 出演:銀河万丈(声優)	未定	1回	高校生以上	70名	
7	野口哲哉展関連コンサート 出演:未定	2月	1回	自由鑑賞		
8	野口哲哉展関連読み語り 出演:銀河万丈(声優)	未定	1回	高校生以上	70名	

#### 鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	トコトコ美術館 テーマ:花	6月22日(土)	2回	3歳~6歳 +保護者	各回 5組	5組 10名
2	トコトコ美術館 テーマ:未定	1月	2回	3歳~6歳 +保護者	各回 5組	

#### 講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	N+N展関連シンポジウム 「アートで考える/アートを考える」 パネリスト:大西若人(朝日新聞編集委員)、蔵屋美香(東京国立近代美術館美術課長)、高橋幸次(美術学科教授)、富井大裕(出品作家、美術学科助教)	7月6日(土) 14:00~	1回	自由参加		50名
2	鹿島コレクション3関連講演会「ファッションプレートについて」 演者:鹿島茂(フランス文学者、明治大学国際日本学部教授)	8月10日(土) 14:30~16:00	1回	中学生以上	70名	
3	鹿島コレクション3関連講演会「浪漫衣装から現代衣装へ」 演者:深井晃子(京都服飾文化研究財団チーフ・キュレーター)	8月24日(土) 14:30~16:00	1回	中学生以上	70名	
4	宮芳平展関連講演会	未定	1回	中学生以上	70名	
5	野口哲哉展関連講演会 「甲冑の歴史」	未定	1回	中学生以上	70名	

#### Ⅱ) 美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	美術史 講師:未定	9~10月	2回	中学生以上	各回 60名	
2	油彩実技 講師:小野さおり(画家)	1月	1回 (2日間)	中学生以上	20名	
3	石彫実技 講師:大野綾子(彫刻家)	3月	1回 (2日間)	18歳以上	15名	
4	おでかけ美術館 講師:当館学芸員	3月	2回	小学4~6年生	各回 10名	

#### Ⅲ) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
2	四季のみじたく シリーズ 夏のみじたく 講師:瀬川辰馬(陶芸家)	6月23日(日) 13:30~17:00	1回	小学5年生以上	20名	16名
3	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッター・ジュ遊び	8月11日(日)2回・ 16日(金)・17日(土)	4回	5歳~ 小学3年生	各回 10名	

4	四季のみじたくシリーズ 秋のみじたく 講師:しおりあさこ(文筆家)	9月29日(日) 13:30~17:00	1回	小学4年生 以上	20名	
5	四季のみじたくシリーズ 冬のみじたく 講師:未定	11月	1回		20名	
6	四季のみじたくシリーズ 春のみじたく 講師:宮園夕加(ポタンデザイナー)	3月	1回		20名	

） その他

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	軽井沢お泊りワークショップ 講師:よこやまさちこ(フラワーアーティスト) ベルデ軽井沢で行う1泊2日のワークショップ2回目。	11月9日(土) ~10日(日)	1回 (2日間)	小学生以上	20名	

## 学校関連事業

） スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布。

- 団体鑑賞 美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする
- 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設全体を紹介する
- 職場体験 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える
- 職場訪問 職場体験の事前学習として来館する生徒による館内職員へのインタビューなどを受ける
- 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする

） ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。  
平成24年度は4回開催する。

	展覧会名	開催予定日	参加者
1	牧野邦夫展	4月16日(火)	13名
2	鹿島コレクション3	7月23日(火)	
3	宮芳平展	9月30日(火)	
4	野口哲哉展	2月19日(火)	

） スクールミュージアム スクールプログラム で使用予定

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。

## 今後の展覧会について(平成 26 年度検討案)

### 「没後 50 年 松林桂月」展(仮称)

(平成 26 年 4 月 13 日(日)~6 月 8 日(日) 予定)

松林桂月(1876~1963)は、山口県萩市に生まれ、明治・大正・昭和の三代を生き、数々の名作を残して文化勲章を受章、後年は東京西郊で活動した近代を代表する巨匠。没後 50 年となるのを機に、30 年ぶりとなる回顧展として、初公開を含む多数の作品で、詩書画の全てに優れた才能を示し、近代にあって水墨画の表現を極めた、桂月の豊かな芸術世界を紹介する。

(共催:日本経済新聞社)

(巡回先:山口県立美術館、田原市博物館)

### 「コレクション展 時代と美術シリーズ」展

(平成 26 年 6 月 13 日(金)~7 月 13 日(日) 予定)

当館の開館 30 年にむけ、2,600 点を越える収蔵作品の中から 1950 年~60 年代に注目を集めた作家の名作・話題作・隠れた傑作などを精選し紹介していくシリーズ第 2 弾。

### 「あしたのジョー、の時代」展(仮称)

(平成 26 年 7 月 20 日(日)~9 月 21 日(日) 予定)

1967 年から劇画連載が始まり、その後 70 年代にテレビアニメで人気を博した練馬区在住漫画家ちばてつや作の『あしたのジョー』は、漫画・アニメ界だけでなく、社会的に激動する時代の象徴として「変化」をもたらす者であり、理性の及ばぬ「変革」や「変動」のアイコンとしての機能を果たした一面がある。同時代に生まれた芸術の変革者たちを「あしたのジョー」をキーワードにとらえ直し、美術や映画・音楽・演劇など 70 年代の芸術諸分野を検証、紹介する。

(共催:朝日新聞社、協力:ちばてつやプロダクション・講談社)

### 「シェイクスピア・イメージ」展(仮称)

(平成 26 年 9 月 28 日(日)~11 月 30 日(日) 予定)

シェイクスピア生誕 450 周年を記念し、シェイクスピアのイメージを包括する諸芸術作品を紹介。第 1 部では、イギリスで最も権威のある製本装丁家協会「デザイナー・ブックバインダーズ」によって、2013 年 6 月に開催された第 2 回国際製本コンペティションの入賞作品を展示。ヨーロッパ 6 か国で開催後、練馬へ。第 2 部ではシェイクスピアの作品から主題を得た絵画や版画作品を紹介する。巡回予定:滋賀県立美術館

(共催:東京新聞社)

**「俵有作、幽玄水墨の世界」展(仮称)**

平成26年12月6日(土)～平成27年2月8日(日) 予定

俵有作(1934～2004)は、古民芸の蒐集と研究のかたわら水墨によるドローイング作品を制作発表する練馬区在住の美術家でもあった。様々な用具を使ってできる墨象は、ある時は書であり山水画であり、また仏画をイメージさせる豊かな喚起力を有しているが、その存在はこれまで国内より海外で高く評価されてきた。現在、アメリカ各地の美術館で開催中の回顧展の凱旋帰国展となる。

## 美術の森緑地の整備について

美術館に隣接した、「美術の森緑地」を3年計画で整備。全面芝生化し、多種多様な動物を中心とした彫刻群を配置、イベント機能を持つ、子どもから大人まで誰でも楽しめる「アウトドアミュージアム」として美術館と一体となった管理・運営を行う。

### 1 美術の森緑地の現況(裏面：位置図・現況図)

所在地 貫井一丁目36番26号

敷地面積 約1,907m<sup>2</sup>

開園 昭和60年10月

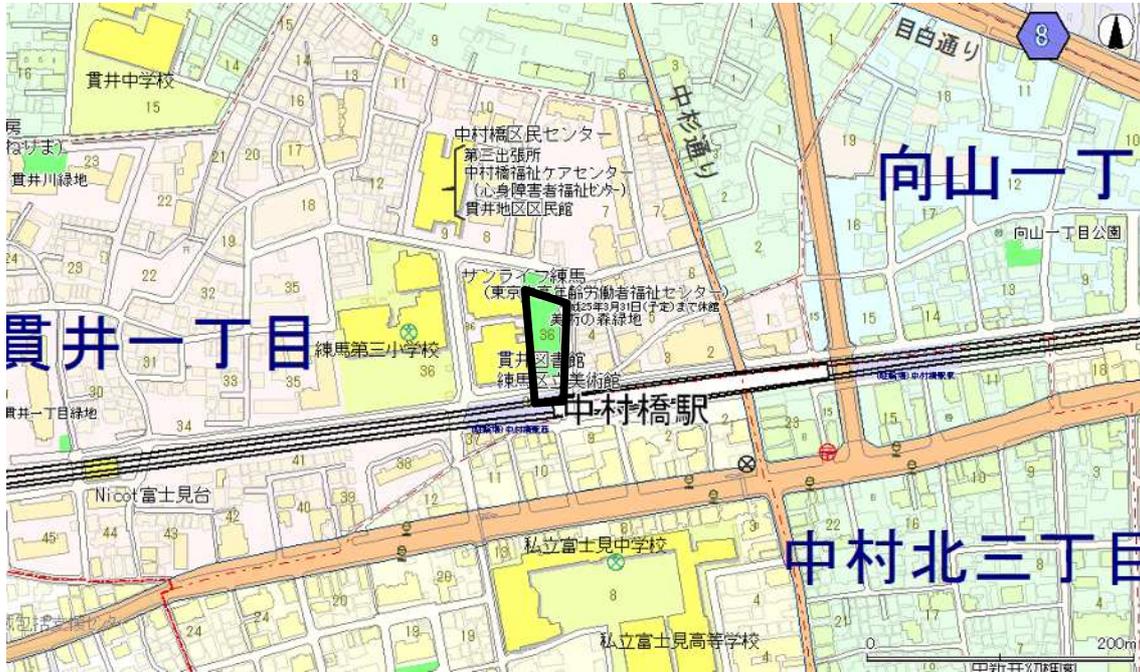
### 2 スケジュール(予定)

(1) 平成24年度 基本構想策定

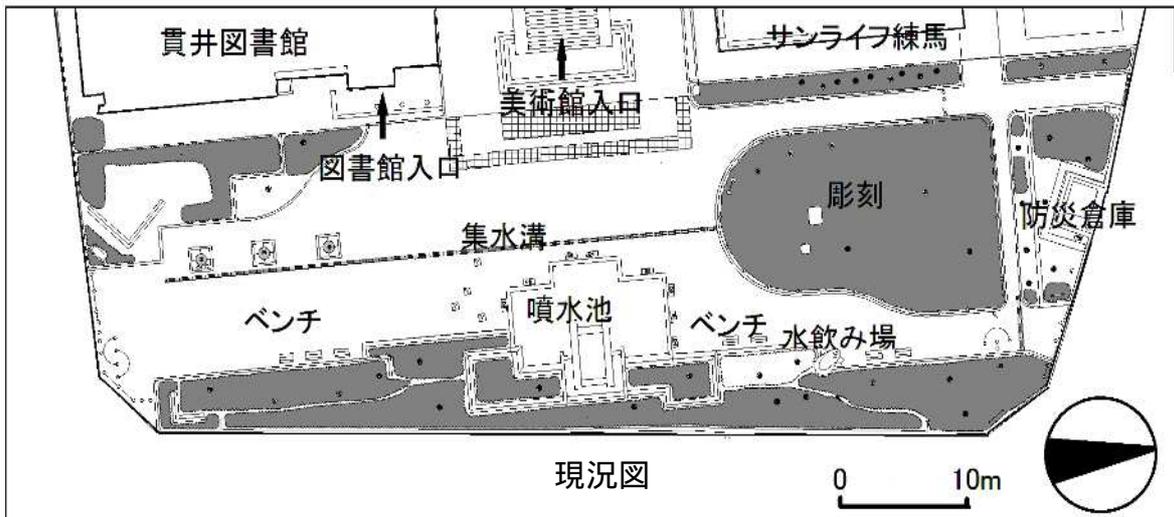
(2) 平成25年度 基本・実施設計(6月～平成26年2月)

(3) 平成26年度 工事・開設(4月～平成27年3月)

## 美術の森緑地



位置図



現況図